

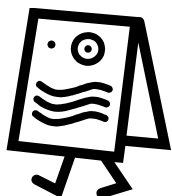
立て看板管理局

1. 立て看板の管理・運用

立て看板は学生が利用できる有効な宣伝手段ですが、その利用方法を間違えれば重大な事故が発生する危険性があります。そこで立て看板管理局は、立て看板やステージバックによる事故を未然に防ぐため、強風時には立て看板を倒すなど、立て看板の管理・運用を行います。また、立て看板の利用方法について問題のある利用団体に対しては、適宜利用方法の指導を行います。

2. 新歓時期での立て看板取り扱い方の調整・管理体制の強化

3月から5月にかけての新歓時期には、普段よりも多くの団体が立て看板を設置し、利用団体間で立て看板設置場所について混乱が生じる恐れがあります。そのため、立て看板管理局は、新歓時期の立て看板の設置場所の割り振りを円滑に進めることができるよう、場所割振り会議を行い、利用団体間での調整を行います。



また、立て看板による事故を未然に防ぐため、利用団体に対して立て看板・ステージバックの取り扱い方を記載したマニュアルの配布や立て看板・ステージバックに関する講習を行います。

3. 友好祭本祭典中の管理体制の強化

第53回友好祭本祭典期間中には、催し物の宣伝を行うために多くの立て看板が立てられることに加えて、立て看板の危険性を知らない一般の方が多く中百舌鳥キャンパスを訪れることが予測されます。そこで立て看板管理局は、友好祭本祭典中の立て看板の見回り回数を増やすことで立て看板の管理体制を強化します。見回りの際に、立て看板の近くで活動している人がいる場合は、適宜注意喚起を行います。

また、フリーマーケットが立て看板の近くで開催される場合は、出店者に対して事前に注意喚起のビラ配りを行うとともに、友好祭本典中にも注意喚起を行います。

